

新しい乾電池を使用してください!

【長期】アルカリ乾電池をご使用下さい!

※充電式電池使用可能

使用推奨期限の表示例

表示例の拡大

アルカリ乾電池

単三形(原寸大)

04-2018

04-2018

04-18

2018年4月までを「使用推奨期限」としている場合の表示例です。通常「表示」は乾電池本体の底面または側面にあります。



単三形乾電池

- 電池は＋の方向を正しく入れてください。
- 新旧・異種の電池を混用しないでください。
- 電池は使用推奨期限内のものをご使用ください。
- 気温が0℃以下時は注意!
0℃以下で乾電池を入れたまま保管すると、乾電池の性質上、性能が十分に得られず動かない場合があります。寒冷地でのご使用は、その都度乾電池を取り外し、室内(5℃～40℃の場所)で保管ください。

注 電池は必ずスイッチが「停止」の位置で入れてください。

ご使用方法

1 吸入ホースを灯油かんの中に入れ、ポンプを灯油かんにセットする

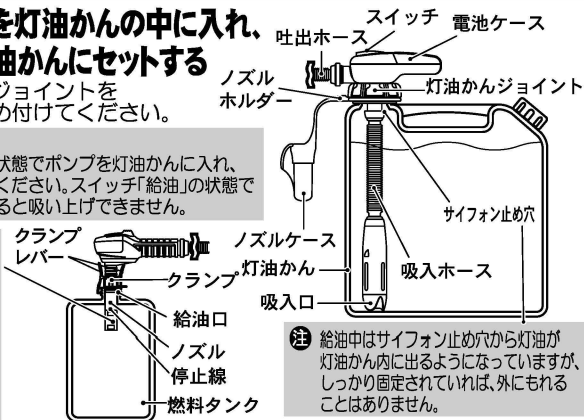
- ・灯油かんに灯油かんジョイントを真っ直ぐしっかり締め付けてください。

スイッチ

- 注 必ずスイッチを「停止」の状態ですべてのポンプを灯油かんに入れ、スイッチを「給油」にしてください。スイッチ「給油」の状態ですべてのポンプを灯油かんに入ると吸い上げできません。

センサー(液面感知部)
センサーが灯油で濡れると感知して止まります。

- 注 ご使用前にセンサー部分が濡れていないことを確認してください。濡れている場合は、乾いた布で拭いてからご使用ください。



注 給油中はサイフォン止め穴から灯油が灯油かん内に出るようになっていますが、しっかり固定されている場合は、外にもれることはありません。

2 ホース先端を給油口に差し込む

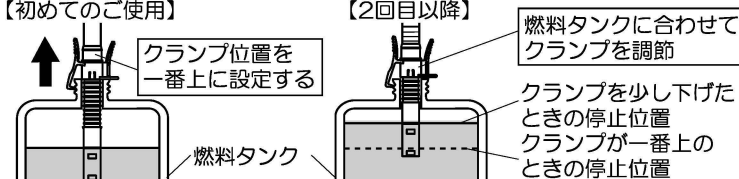
初めてご使用の際は、クランプを一番上にあげてください。クランプレバーの両側を押さえて、給油口に挟んでください。

〈クランプの調節について〉

クランプ…燃料タンクに入れる灯油の停止させたい位置を調節するもの。

【初めてのご使用】

【2回目以降】



注 停止時に、ホース内の灯油も燃料タンクへ入りますので、その量も見込んで停止位置をクランプレバーで調整してください。(停止線は目安です。通常停止線より下で止まります)

注 給油口に挟めない場合、ノズル本体をまっすぐ手で持って給油してください。

3 スイッチを「給油」側にスライドさせる 押しでスライドさせる

- ・ランプ(赤)が点灯して給油を始めます。
- ・「満タン」になると自動的に給油が止まりランプが消えます。
- ・お知らせブザー付き型式:EP-503FBは「満タン」になると自動的に給油が止まり、ブザーが鳴ります。

給油 ↔ 停止



4 スイッチを「停止」側にスライドさせる。(ブザー付はブザーが止まります)

注 停止後は必ずスイッチを切ってください。(「給油」の位置では電池が消耗したり、誤作動した場合に灯油が溢れ出たり、思わぬ事故の原因となります)

5 吐出ホース内に残った油を出しきる

ホース先端に付いた灯油がたれないように注意しながらノズルを本体より高く持ち上げ、ホース内に残った灯油を灯油かんに戻してください。

持ち上げる

※ホース内に残った灯油が戻りにくい時は、センサーで停止後(スイッチを切る前)ノズルを持ち上げてください。

6 ノズルをノズルケースに差し込み収納する

ケース内にたまった灯油は、定期的に灯油かんに戻してください。

長期保管時の注意

- 灯油かんから取り外し、電池を取り出し、ポンプに残った灯油はよく切り、乾いた布で拭いてから通気性のよいものにくるんで保管してください。
- 幼児の手の届かない所へ保管してください。

要保管取扱説明書

灯油専用 家庭用

乾電池式 灯油ポンプ(自動停止タイプ)

ママオート

単三形
アルカリ乾電池4本使用
(別売)

型式 **EP-503F** ※お知らせプーザは付いておりません。
EP-503FB(お知らせプーザ付)

※単三電池2本でも使用可能です。電池2本の場合、ただし使用時間が短くなります。右図○の箇所に電池を入れて下さい。



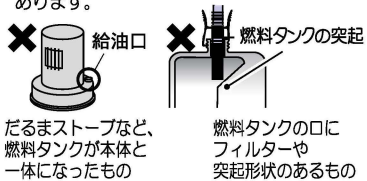
JISマーク/推奨・認定マーク付
灯油かん専用
灯油かん口 外径 **50mm** 対応

65mm ポリ缶用アダプター
(EP直付ポンプ専用) 別売
製品番号 PA-246
JAN 4971770-107298
灯油かん口65mmを50mmに変えて本機を取り付けられます。販売店にお問い合わせ下さい。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

使用上のご注意 (必ずお守りください)

- 警告** 人が死亡または損害を負う可能性が想定される内容です。
 - ガソリン、ベンジンなどに使用しない
火災の原因となります。
ガソリン、ベンジン、シンナー、酸・アルカリなどの腐食性の高い液体、水は使用しないで下さい。
 - 給油中は離れないあふれる場合があります。
 - 分解や改造はしない故障の原因となります。
 - 点火中は給油しない火災の原因となります。
- 注意** 人が損害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容です。
 - 下記の様な暖房器具の燃料タンク形状には使用しない
自動停止センサーが正常に作動しないことがあります。



- 注意** 人が損害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容です。
 - ポンプを落としたり強い衝撃を与えない故障や油もれの原因となります。
 - 次のことを守らないと電池が液もれする原因となる
電池の使用表示に従って正しく使用して下さい。使用後は必ずスイッチを切って下さい。長期間使用しないときは、電池を器具から取り出して下さい。
 - 次のことを守らないと自動停止せず灯油があふれる原因となる
クランプは浮いたり傾いたまま使用しないで下さい。センサーは汚れたり傷ついたりしないで下さい。
 - ホースの破れ等、もれたまま使用しない
吹き出した灯油で思わぬ事故の原因となります。
 - 雨や水しぶきのかかる所に置かない
火災、感電、故障の原因となります。
 - ポンプを灯油かんに取り付けたまま運搬しない
灯油がもれる原因となります。
 - 灯油かんを倒さない
灯油がもれ、火災の原因となります。

故障かな?と思ったら


症状	原因・調べるところ	直しかた
スイッチを入れても動かない モーター音もしない	電池の入れ間違い	電池を正しく入れる
	電池が消耗している または使用推奨期限切れ	新しい電池に取り替える
モーター音もしない	燃料タンク内のフィルターや突起物に当たり跳ね返った 灯油にセンサーが感知している	燃料タンク内のフィルターをはずして下さい。突起物のある場合は使用出来ません。 〔使用上のご注意〕参照
	センサーが灯油に触れている	センサーを拭き、センサーが灯油に触れないよう手で支える(ご使用方法①参照)
モーター音はする	センサー感知して停止後、スイッチを「停止」にしてすぐに「給油」にした	一度「停止」にして約2秒以上待って「給油」にする
	電池が消耗している または使用推奨期限切れ	新しい電池に取り替える
吸い上げない もしくは 吸い上げが弱い モーター音はする	燃料タンクの位置が高い	灯油かんの横に置く
	スイッチを入れたまま 灯油の中にポンプを入れた	一度スイッチを切り 再度スイッチを入れる (ご使用方法①参照)
満タン位置に なっても止まらない	センサーが灯油に触れていない	センサーが灯油に触れるよう手で支える
	センサーが灯油に触れている	センサーを拭き、センサーが灯油に触れないよう手で支える(ご使用方法①参照)
電池を入れたら ピーピー音が鳴る (お知らせプーザ付機種のみ)	電池が消耗している または、使用推奨期限切れ	新しい電池に取り替える
	灯油かん口から 灯油がもれる	灯油かんジョイントが しっかり締まっていない (ご使用方法①参照)

故障かな?と思ったら...まずこちら!! (ご購入時のレシートを保管しておいてください)

パソコン <http://www.koshin-ltd.co.jp>

携帯 左のQRコードで
購入前&購入後のQ&Aをご覧いただけます

フリーダイヤル **0120-075-540** キョウトのコーシン 平日:9:00~12:00・13:00~17:00
土曜:9:00~12:00(年末年始、夏期休暇等、日祝日を除く)
受付時間は予告なく変更される場合がございます。詳しくはホームページをご覧ください。

画面上的ココをクリック  **お客様サポート**